

# 舞踏と文学——身体表現と言葉の関係

## 講座内容

1959年、三島由紀夫の『禁色』の舞台で始まった舞踏は、日本独自の前衛芸術表現として世界の注目を集めている。舞踏家たちは三島由紀夫、澁澤龍彦をはじめ多くの文学者、美術家とかかわってきた。現在、世界各地に舞踏家がいる、舞踏研究所があり、毎年多くの外国人が舞踏を学びに日本を訪れる。この講座では舞踏と文学の関係、バレエや美術などとの関係も呈示し、舞踏を通して文学について新たな視点を示す。実際に舞踏もご覧いただくため、アートや舞台、文学に関心がある人に大きな刺激となるはずだ。

期 間	5月8日～7月10日	受講料	すべての回を受講する場合 20,000円 各回受講する場合(1回につき) 2,500円
曜 日	水曜日	定 員	20名
時 間	15:10～16:50	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全10回	持ち物	筆記用具
教 材	映像上映。講師が配布するレジュメやプリント		
備 考	参考書籍:澁澤龍彦『日本芸術論集成』(河出文庫)、土方巽『病める舞姫』(白水Uブックス)、大野一雄『百年の舞踏』(フィルムアート社)、吉増剛造『舞踏言語』(論創社)など		

## 講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	5月 8日 (水)	舞踏とは何か 舞踊との違い。土方巽、大野一雄、笠井勲、大駱駝艦、山海塾など
2	5月15日 (水)	舞踏と文学・序論 日本の文学者たちと舞踏。種村季弘、大岡信、青野聰、村松友視、谷川俊太郎など
3	5月22日 (水)	三島由紀夫と舞踏 舞踏の始まりは『禁色』(1959)、土方巽とのつながり
4	5月29日 (水)	舞踏と澁澤龍彦 土方巽を世に出したフランス文学者、サド紹介者。舞踏と美術の関係など
5	6月 5日 (水)	石原慎太郎と舞踏家 土方巽がモデルの小説『光より速きわれら』(1976)。ゲスト講師:富岡幸一郎氏(関東学院大学教授)
6	6月12日 (水)	吉増剛造と舞踏 大野一雄を始め多くの舞踏家とコラボなど。吉増剛造『舞踏言語』(論創社)
7	6月19日 (水)	シュルレアリスムと舞踏 ロートレアモン、ブルトン、シュルレアリストたち、アルトーなどの影響
8	6月26日 (水)	バレエ、舞踊と文学 ゴッティエ、メリメから現代文学まで
9	7月 3日 (水)	舞踏とコンテンポラリーダンス 舞踏出身の振付家、影響を受けたダンサーなど
10	7月10日 (水)	舞踏の実際と解説 ゲスト講師:86歳舞踏家、三浦一壮氏のミニ公演とトーク

## 講師紹介



**志賀 信夫(しが のぶお)** 批評家 編集者 元・本学国際文化学部非常勤講師

1955年東京生まれ。中央大学文学部フランス文学科卒業、埼玉大学大学院言語文化論修士修了。文学、美術、舞踊などについて執筆・編集。舞踊批評家協会、舞踊学会会員。舞踊の講評・審査、トーク、公演企画等多数。著書『舞踏家は語る』、共著『吉本隆明論集』『美学校1969～2019』等、執筆『図書新聞』『週刊読書人』『ダンスワーク』『TH叢書』『ExtrART』等。



**富岡 幸一郎(とみおか こういちろう)** 本学国際文化学部教授、文芸評論家

第5回ゲスト:1957年東京生まれ。中央大学文学部フランス文学科卒業。在学中の1979年、「意識の暗室—埴谷雄高と三島由紀夫」で『群像』新人賞評論優秀作を受賞。鎌倉文学館前館長、神奈川近代文学館理事。大佛次郎研究会、北村透谷研究会幹事。著書多数。



**三浦 一壮(みうら いっそう)** 舞踏家

第10回ゲスト:1937年生まれ、86歳。1962年日本マイム研究所。1965年ケイタケイらとVAV結成。1972年舞踏舎設立。1977年ナンシー演劇祭、仏伊巡演。1979年インターナショナルワークショップ(ローマ)。2018年同ワークショップ(ベルー)招聘をきっかけに復活。ソロ公演、『バラ色ダンス』『山田奈々子メモリアル』など出演多数。2021年ベルー、2022年欧州公演。